

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会企画

比企の歴史まるわかり!

9市町村広報リー

～ときがわ町版～



大河ドラマ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会広報リー企画、4月はときがわ町です。俳優・大泉洋が演じる初代鎌倉殿・源頼朝ゆかりの慈光寺をご紹介します。

慈光寺

慈光寺は標高463mの都峯山から東に連なる山の南面中腹にあり、開山1300年の歴史を誇る、天台宗の寺院です。鎌倉時代には奥州征伐に際して初代鎌倉殿・源頼朝から篤い信仰を受けた慈光寺。記録によれば、慈光寺列当(寺僧の最高職)には畠山重忠の伯父・巖耀いんしょうや重忠の子・重慶じゅうけい、円耀えんしょう兄弟の名前も見られ、「一山七十五坊」を擁し、北関東一帯に絶大なる寺院勢力を誇示していた背景には畠山一族による政治的、経済的な基盤があったとの見方もあります。



観音堂

慈光寺には長い歴史を物語る、数多くの文化財が収蔵されています。
慈光寺観音堂は阪東三十三所観音霊場第九番札所ばんとうさんじゅうさんしよかんのいらいじょうで、千手観音を本尊とする観音堂です。現在のものは、享和3年(1803年)頃に再興されました。

ほけきょういつほんきょう 法華経一品経【国宝】

慈光寺に伝わる法華経一品経は「慈光寺経」とも呼ばれ、法華経二十八品を一品一巻ごとに書写した二十八巻と无量義経、観普賢経、阿弥陀経、般若心経の全三十三巻から成り、文永7年(1270)の筆者目録と寛政2年(1790)の補写目録が付属しています。絢爛華麗な装飾が随所に描かれていることから、広島県巖島神社の「平家納経」、静岡県鉄舟寺の「久能寺経」とともに日本三大装飾経として【国宝】に指定されています。



問合せ ときがわ町役場 企画財政課 (直通) 0493-65-0404

5月号は、比企能員の子、能本との親交が伝わる東秩父村です。